

国営昭和記念公園 こもれびの里運営及び運営計画（平成12年度～）



■主旨・内容

「こもれびの里」は、「昭和・武蔵野・農業」をテーマとして、昭和30年代のなつかしい武蔵野の農村風景を再現し、さまざまな体験を通して暮らしの知恵を発展継承するものである。

国営公園としてははじめての試みとして、計画段階から、市民参加の手法によって事業を進めるものとしている。

市民参加の可能性調査を行い、手ごたえが得られたことから、一般公募によって市民協働の「こもれびの里クラブ」を立ち上げ、農作業や年中行事などの活動、ワークショップによる各種検討会を行い、また、学識経験者や地元有識者等による「こもれびの里懇談会」によってクラブの方向性の検討などを行い、検討結果をもとに、供用後の運営計画、施設整備計画を作成した。

◆基本方針

1. 市民が継続的に参加していく
2. 昭和30年代の武蔵野の農村にあった心象風景を再現する

◆テーマ

昭和

武蔵野

農業

◆ワークショップの開催



◆こもれびの里クラブの発足と運営



伝統行事



農作業



体験イベントの開催



伝統的な食の再現

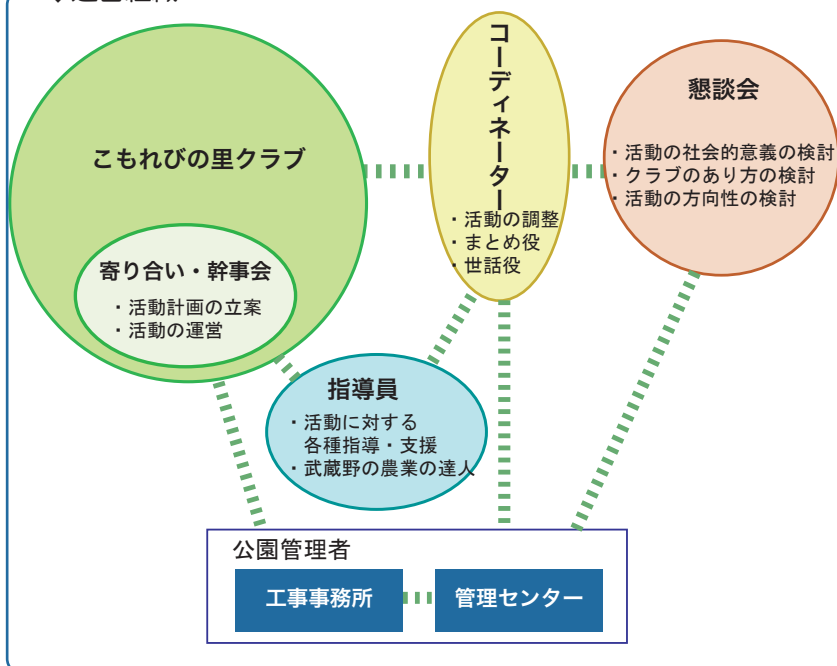


納屋などの建設



植木の管理

◆運営組織



平成18年度こもれびの里クラブ

■諸元

公園名称： 国営昭和記念公園
 施主： 国土交通省 関東地方整備局
 国営昭和記念公園工事事務所
 所在地： 東京都立川市
 敷地面積： 180ha
 対象面積： 2.8ha
 業務内容： 運営基本計画
 設計期間： 2002.08～2003.03